

各都道府県市町村教育委員会教育長 様
各国・公・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関 係 各 位

第57回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会

大会実行委員長 田畑 卓朗

第57回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 長野大会要項（最終案内）

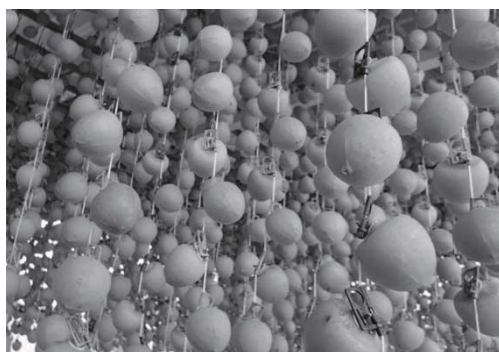
松本城・松本市



御柱祭・諏訪市



市田柿・飯田市



北アルプス・安曇野市



1 主 催

全日本中学校技術・家庭科研究会 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会 長野県技術・家庭科教育研究会

2 共 催

諏訪市教育委員会

3 後 援* 予定

長野県教育委員会, 信濃教育会, 関係市町村教育委員会連絡協議会, 松本市教育委員会, 伊那市教育委員会, 塩尻市教育委員会
大町市教育委員会, 飯田市教育委員会, 諏訪郡富士見町教育委員会, 下伊那郡喬木村教育委員会, 信州大学教育学部
関東甲信越地区中学校長会, 長野県中学校校長会, 長野県小学校校長会, 諏訪校長会, 松本市校長会, 上伊那校長会, 東筑摩塩尻校長会
北安曇校長会, 下伊那校長会, 諏訪教育会, 松本市教育会, 上伊那教育会, 東筑摩塩尻教育会, 北安曇教育会, 下伊那教育会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会, 公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部（順不同）

4 期 日

平成30年10月25日(木) 理事会・全体会 26日(金) 授業公開・分科会

5 研究主題

研究主題 『共に拓く技術・家庭科の学習』

主題設定の理由

AI が人間の知能を超えると言われるような情報技術の急速な発展に加え、グローバル化によって社会の多様化が急激に進んでいる。私たちは、予測困難な社会を生きていく子どもたちに、生活や社会の問題を解決していくための資質・能力を育んでいかなければならない。技術・家庭科では、身に付ける資質・能力を育成するための授業改善や学習指導等の工夫が不可欠である。

本研究会では、これから生き抜くためには、生活や社会の問題に対して主体的に関わり、考えや経験の違う他者との協働による問題解決が重要であると考えた。また、子どもたちの学習の基盤となる経験や知識の個人差が大きくなっている状況にあるからこそ、他者や友と学び合う学習がさらに必要であると考えている。そこで、研究主題を「共に拓く技術・家庭科の学習」と設定し、これから生きる子どもたちの育って欲しい姿を「他者と協働し、家庭や社会の生活をよりよくしようと意欲を持って主体的に工夫し、実践する人」とした。この姿を実現させるために、「共に拓く」授業の手だてを考え、研究を進めている。新学習指導要領でうたわれている「主体的・対話的で深い学び」にも取り組んでいきたい。

6 日程

《10月25日（木）》 【理事会・全体会】 会場：諏訪市文化センターホール （諏訪市）

10:30	11:00	12:00	13:00	13:15	13:55	14:10	14:50	15:00	15:50	15:55	16:15
理事 研修会 受付	理事 研修会	全体会 受付	開会式	休憩	研究発表 研究協議 (長野・茨城)		指導講評		閉会 行事		

《10月26日（金）》 【分科会】 会場：9分科会場

[第1～第8分科会]

9:00	9:20	9:30	9:40	10:30	10:40	11:00	12:00	12:20	13:20	14:20	14:50	15:20
受付 移動	授業 移動	移動		公開授業	移動	開 会 式	授業研究 提案発表 (長野)	指導 助言	昼食 休憩	提案発表 研究協議 2都県※	指導 助言	閉会式

[第9分科会]

9:00	9:30	9:45	10:30	10:45	11:35	11:45	12:20	13:20	14:00	14:35	14:50	15:20
受付 移動	開 会 式	提案発表 授業説明	移動	公開授業		授業研究	昼食 休憩	指導 助言	提案 発表 研究 協議	指導 助言	閉会式	

7 全体会指導助言者

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

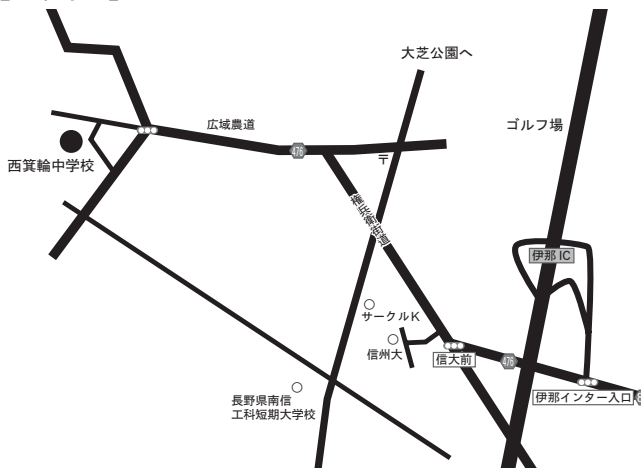
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様

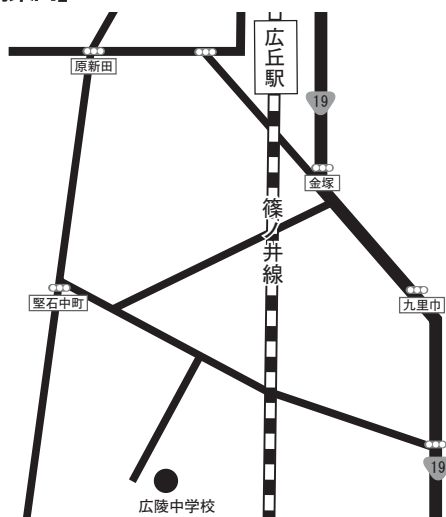
第9分科会
喬木中学校

9 各分科会 会場校案内

第1分科会	A 材料と加工の技術 諏訪市立上諏訪中学校 (所在地) 諏訪市諏訪2-12-1		(TEL) 0266-52-0745 (FAX) 0266-52-0083
	【学校紹介】 諏訪盆地を一望のもとにながめる文化創造の先進地手長丘に位置し創立71年を迎えました。かつては1500名を超える大規模校でありましたが、現在全校8学級、生徒数187名の学校です。学校教育目標「真理の追求・自主自律・質実剛健」の具現に向け、重点目標「私を育てる～自己のありようを問い返す生徒の育成～」を目標に据え日々取り組んでいます。	【会場案内】 	【交通】 ・JR 中央東線「上諏訪駅」より徒歩7分 ・中央道「諏訪IC」から車で約10分 中央道「岡谷IC」から車で約20分
	【研究の見どころ】 新学習指導要領の三つの柱の「思考力、判断力、表現力等」の育成を重点に研究を進めてきました。身近な問題から課題を設定し、収納ラックの製作を通して、友や家族と共に生活を工夫し創造する資質・能力を伸ばす授業を提案します。公開当日は、依頼者と設計者が話し合い、工夫を共有したり、新しい工夫を創造したりしながら主体的に設計していく場面をご覧ください。	【他県提案】 東京 栃木	

第2分科会	B 生物育成の技術 松本市立清水中学校 (所在地) 松本市清水2-7-12		(TEL) 0263-32-2078 (FAX) 0263-37-1174
	【学校紹介】 平成28年度に開校70周年を迎えた本校は、国宝松本城の東側に位置し、松本盆地の伏流水が湧き出る郷に、落ち着いた佇まいの木造校舎を構えています。学都松本にある学校として、学校目標の四本の柱である「すなおさ、若々しさ、たくましさ、ゆかしさ」の具現を目指して、日々学び、考え、実践しています。(生徒数369名、全校12学級)	【会場案内】 	【交通】 ・JR 松本駅よりアルピコバス「美ヶ原温泉線」31「清水中学校前」下車 ・中央道「松本IC」から車で30分
	【研究の見どころ】 スプラウトの栽培を通して「光、水、温度、空気」など環境調整の観点から気付かせた見方・考え方を働かせ、技術分野が目指す資質・能力を育成してきました。その学習を生かして、「夏秋採りイチゴ」栽培に取り組みます。「夏秋採りイチゴ」は、近年、長野県内各地で栽培が盛んに行われています。実際に栽培を行い、環境調整の最適化や栽培技術の評価について、友と考え合う場面をご覧ください。	【他県提案】 山梨 茨城	

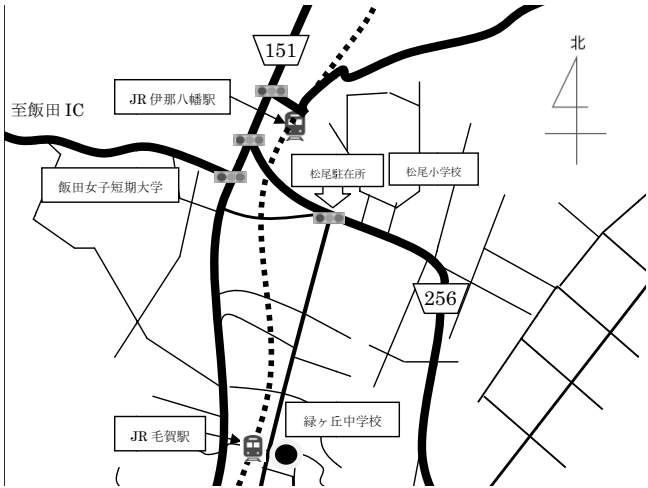
第3分科会	C エネルギー変換の技術 伊那市立西箕輪中学校 (所在地)伊那市西箕輪6569-1	(TEL) 0265-72-6421 (FAX) 0265-72-6734
	【学校紹介】 本校では、生徒のよさと可能性を伸ばす学校づくりと「学び合い」を軸とした授業を通して、自律した学習者の育成を目指しています。市教委から ICT 教育推進校に選定され、すべての学級に電子黒板機能付きプロジェクターと書画カメラが設置されました。それらを利用することで分かりやすく効率的な授業展開を心がけ、生徒の思考力・表現力の育成にも活用しています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 電気エネルギーを有効利用したいと願う生徒が、身に付いている知識及び技能を用い、制御する部分（センサやスイッチ）を工夫し、友と協働しながら、目的にあった回路を考えることで、生活や社会の問題を解決する学習を行います。技術の見方・考え方を働かせて、生活や社会をよりよくし、持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の最適化について考える場面をご覧ください。	【交通】 ・中央道「伊那IC」を出て右折し車で10分 ・JR 飯田線「伊那市駅」下車 伊那バス西箕輪線「学校前」下車徒歩1分 ※バスは、適切な時間の往復で各1本しかありません。
	【他県提案】 神奈川 群馬	

第4分科会	D 情報の技術 塩尻市立広陵中学校 (所在地) 塩尻市広丘堅石457-1	(TEL) 0263-53-3537 (FAX) 0263-51-1602
	【学校紹介】 今年度開校 30 周年を迎え、「世界を見つめ 心豊かに たくましく 生きる生徒」の学校目標のもと、「あいさつと歌声と学力向上広陵中」を合言葉として各教育活動に日々取り組んでいます。(生徒数 520 名余)生徒の手による伝統のブドウ栽培や地域の皆さんとともに活動する講座型学習「カリオンタイム」を行うなど、地域に根ざした教育活動を展開しています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 ネットワークを使った学校紹介をテーマに、双方向性のある”チャットボット”プログラム制作を通して、データベースや情報システムの仕組みについて学習します。公開授業では、コンビニ POS システムや、オススメ商品の表示プログラムで得た、ネットワークに関する技術に対する見方・考え方を働かせ、利用状況を分析し、ユーザーにとってより使いやすいシステムにするための改善点を考える場面をご覧ください。	【交通】 ・JR 篠ノ井線「広丘駅」より徒歩 30 分(2.2 km) ・中央道「塩尻北IC」から車で約 10 分
	【他県提案】 埼玉 千葉	

第5分科会	A 家族・家庭生活 富士見町立富士見中学校 (所在地)諏訪郡富士見町富士見4 6 5 4	(TEL) 0266-62-2009 (FAX) 0266-62-7409
	【学校紹介】 生徒数 377 名, 全校 16 学級(含特支 4 学級)の学校です。山梨県との県境に位置し, 富士山を望む豊かな自然に囲まれています。『知的好奇心を高め, 自らの夢に挑戦することができる生徒』を教育理念に掲げ, 「つながりを深める人間性, 可能性を引き出す知性, 明日を切り開く感性」の学校教育目標の具現化を目指して, 地域の皆様と共に教育活動を推進しています。	【会場案内】  The map shows the location of Fujimi Junior High School (富士見中学校) in the center. To the north is the 'Tyga Garden' (タイガガーデン). To the east is the 'Edion' (エディオン) store. Further east is the 'Fujimi 2nd Gymnasium' (富士見第2体育館) and the 'Fujimi Town Office' (富士見町役場). To the south is the 'Fujimi Town Museum' (富士見町高原のミュージアム) and the 'Fujimi Town Center' (富士見町民センター). The school is located near the 'Central Expressway' (中央道「諏訪南 IC」) and the 'National Route 20' (国道 20 号). The 'Fujimi' (富士見) station is also marked.
	【研究の見どころ】 幼児から中高生, 親世代や高齢者までが楽しみにしている富士見町のお祭り「ふじみが一番熱くなる日<富士見 OKKOH 祭>に込められた人々の思い」を切り口に, 自分の成長と家庭・地域の関わりについて, 「自分が地域にできることは何か」をテーマに, 友と追究を深める姿をご覧ください。	【交 通】 ・JR 中央本線「富士見駅」より徒歩 7 分 ・中央道「諏訪南 IC」から車で 7 分 【他県提案】 栃木 群馬

第6分科会	B 衣食住の生活（食生活） 松本市立梓川中学校（所在地）松本市梓川梓800-2	(TEL) 0263-78-2024 (FAX) 0263-76-1055
	【学校紹介】 松本市の西部、安曇野の南に位置する本校は、梓川のほとり、平成17年、合併に伴い松本市立の中学校となりました。現在、全校生徒約430名、全校13学級、開校より63年を迎えます。学校目標「強く やさしく 思慮深く」のもと、りんご摘花作業、福祉施設「梓荘」訪問等、地域に根ざした教育活動を実践しています。	【会場案内】
	【研究の見どころ】 肉・魚の調理実習をもとに、健康的な食生活のための井づくりを行った生徒が、「〇〇さんの井」を考え合うことで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、健康に配慮した食生活の工夫を創造していきます。当日は、地域の方や仲間のアドバイスを受けながら、食べる人の健康や好みを考えて、地域食材の選択や調理方法などを工夫していく姿をご覧ください。	【交通】 ・JR大糸線「梓橋駅」よりタクシー10分（5.0 km） ・中央道「松本IC」から車で約15分 【他県提案】 山梨 茨城

第7分科会	B 衣食住の生活（衣生活・住生活）		(TEL) 0261-22-1262
	大町市立第一中学校 (所在地) 大町市大町4 5 2 8		(FAX) 0261-22-4779
	【学校紹介】 雄大な北アルプスの山並みに抱かれる本校は、大町市の中心部に位置し今年で開校 57 年目を迎えます。(全校 11 学級、生徒数 270 名余) 学校の基本理念「聴く学校」を合言葉に、平成 27 年度から協働の学びを軸とした授業を全教科で取り組んでいます。この授業実践を通して、論理的思考力を高め、自立した学び手を育成することを目指しています。	【会場案内】 	
	【研究の見どころ】 地域にある「布」に着目して、衣生活の学習における問題解決的な学習を考えています。ゲストティーチャーから先人の知恵を学んだり、新しい価値観を見いだしたりする学習と、生活の営みに係る見方・考え方を働かせた実践につながる技能を習得する学習です。 当日は、「地域で活用できるもの」の製作計画を、布の提供者と使い手の思いをつなげながら、友と考え合う姿をご覧ください。	【交 通】 ・JR 大糸線「北大町駅」より徒歩 15 分 (1.4 km) ・JR 大糸線「信濃大町駅」から 市民バスふれあい号で 10 分「一中南」または「不二塚公民館前」下車 約 1 分 ・長野道「安曇野 IC」から車で約 40 分 ・上信越道「長野 IC」から車で約 60 分	
		【他県提案】 神奈川(衣) 千葉(住)	

第8分科会	C 消費生活		(TEL) 0265-22-1469
	飯田市立緑ヶ丘中学校 (所在地) 飯田市毛賀4 2 6		(FAX) 0265-22-1417
	【学校紹介】 飯田市の中部、天竜川の畔に位置し、昭和 33 年に当時の松尾・竜丘・下久堅の 3 中学校が統合して設立されました。校名の緑ヶ丘には、美しい自然環境の中でのびのび育って欲しいという願いが込められています。全校 27 学級、生徒数 700 余名。開校当時より「質実剛健」を校是とし、「みどりの心（自己に厳しく他に温かく）」の具現に向かって努力しています。	【会場案内】 	
	【研究の見どころ】 持続可能な社会の一員として、自らの消費生活をより良くするために、「気軽に効果的で継続的に」実践できることを考えていきます。当日は、チーム学習で得た友からのアドバイスを活用しながら、自分の生活実践計画書『マイ結びプラン』の内容を決めだしていく姿をご覧ください。	【交 通】 ・JR 飯田線「毛賀駅」より徒歩 2 分 (0.2 km) ・中央道「飯田 IC」出口を右折し車で 15 分	
		【他県提案】 埼玉 東京	

